

ギリシャ総選挙カウントダウン

発表日：2015年9月9日(水)

～遠退く安定政権への道～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

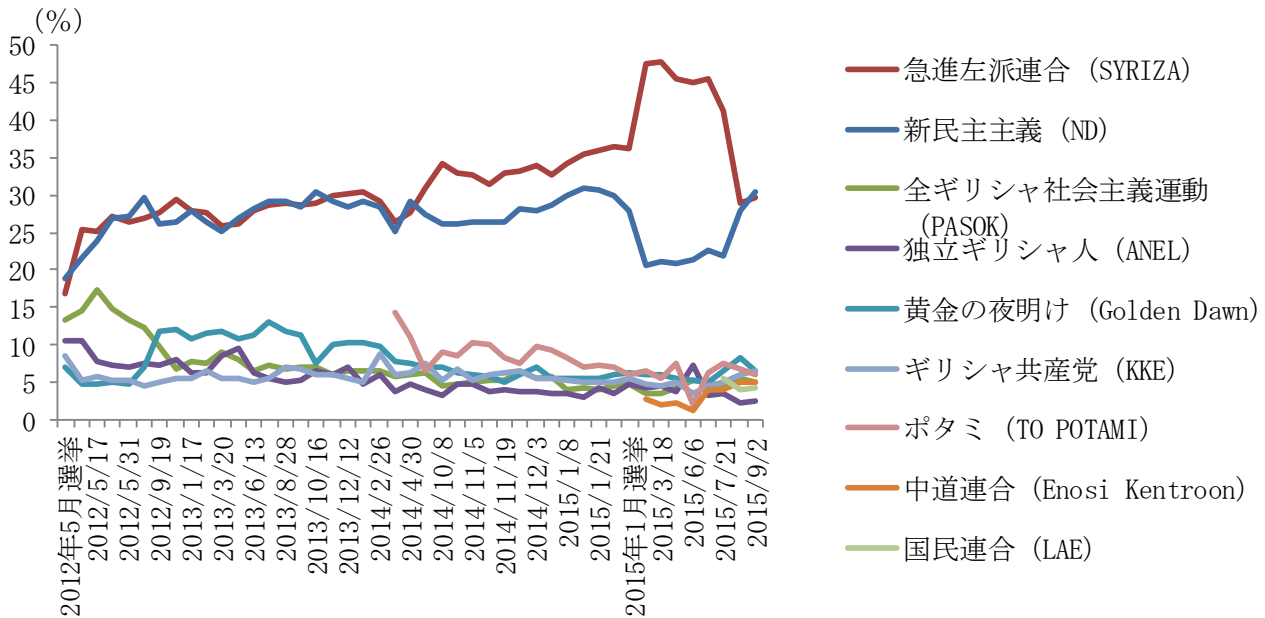
◇ 総選挙を来週末に控えるギリシャでは、急進左派連合の支持率が急落し、新民主主義と逆転する世論調査もある。急進左派連合がこのまま逃げ切った場合、連立相手の独立ギリシャ人が当落線上にあり、政権発足には中道政党の協力を得る必要がある。連立協議の難航で再選挙となるリスクが残る。他方、新民主主義が逆転で勝利した場合、急進左派連合が再び政権批判の側に回り、政権運営を揺さぶることが予想される。何れの場合も不安定な政権運営を余儀なくされよう。

9月20日に総選挙を控えるギリシャでは、急進左派連合（SYRIZA）の支持がここに来て急落しており、一部の調査で新民主主義（ND）と逆転したものもある（図表1）。投票日まで2週間を切った今も有権者の多くが態度を決めかねているうえ、7月の国民投票が予想外の結果となったことからギリシャの世論調査の精度に疑問も残り、選挙戦の行方は予断を許さない。何れの党が勝利した場合も、単独での政権発足に必要な過半数（151議席）の獲得は難しく、政権発足には他党との連立が必要な情勢だ。

このままSYRIZAが逃げ切った場合、連立協議が難航する恐れがある。SYRIZAは現状では議会の解散前に連立を組んでいた独立ギリシャ人（ANEL）以外との連立の可能性を否定している。そのANELは最近の世論調査で議席獲得に必要な3%の票に満たないものもあり、当落線上にいる。守旧派政党批判が出発点のSYRIZAにとって、その象徴的な存在であるNDと手を結ぶことは難しい。三次支援を軌道に乗せることを目指すSYRIZAが、緊縮受け入れを拒否してSYRIZAから分裂した国民連合（LAE）、反緊縮姿勢を貫く黄金の夜明け（Golden Dawn）や共産党と連立を組むことは考え難い。同じく守旧派だがイデオロギーが近い全ギリシャ社会主義運動（PASOK）、中道左派の新興勢力・ポタミ（TO POTAMI）、初の議席獲得を目指す中道連合（Enosi Kentroom）などとの連立が必要となろう。十分な議席を確保するには複数政党による連立が必要とみられ、連立協議の難航から再選挙となる恐れや、政権発足後も不安定な政権となる可能性がある。

他方、NDが逆転で勝利を収めた場合、前述の通り、SYRIZAがND主導の連立に加わる可能性はほぼないとみてよい。PASOK、ポタミ、中道連合など中道政党と連立を組み、政権を発足することになろう。現在の世論調査の結果に基づけば、複数政党による連立が必要な情勢で、政権基盤は決して磐石ではない。この場合、野党に転じたSYRIZAは再び政権批判をする側に回り、政権を揺さぶることが予想される。NDによる政権運営に批判的な政党は、SYRIZA、黄金の夜明け、共産党、国民連合で、選挙結果次第ではこれらの勢力で130議席程度を確保する可能性がある（図表2）。ギリシャの政治安定への道のりは険しい

(図表1) ギリシャ主要政党の支持率



出所：Metron Analysis資料より第一生命経済研究所が作成

(図表2) 世論調査に基づくギリシャ総選挙での獲得議席予想

	連立与党			親欧州野党				反緊縮野党		合計
	急進左派連合	国民連合	独立ギリシャ人	新民主主義	ポタミ	全ギリシャ社会主義運動	中道連合	黄金の夜明け	ギリシャ共産党	
	SYRIZA	L A E	ANEL	ND	TO POTAMI	PASOK	Enosi Kentroom	Golden Dawn	K K E	
	左派	左派	右派	中道右派	中道左派	中道左派	中道左派	右派	左派	
現有議席	124	25	13	76	17	13	0	17	15	300
最近の世論調査に基づく獲得議席予想	70前後か、140前後(第1党ボーナス議席加算時)	15前後	議席獲得できないか、10前後	60前後か、130前後(第1党ボーナス議席加算時)	20弱	15前後	15弱	20前後	20弱	—

注：ギリシャ議会選挙は3%以上の得票を獲得した政党に250議席を比例配分し、第1党に50のボーナス議席
 出所：各種世論調査の結果より第一生命経済研究所が作成

以上